

統合実習（事前課題レポート）

A3

実習グループ（ ）

学籍番号（ ）

氏名（ ）

テーマ：「看護専門職者として働くうえでの自己の課題と、それに対する統合実習での取り組み」

6 クール目までの実習場面から、「①対象理解②倫理観③探求心④実践力⑤調整力」の5つの視点（←要マーカー）をもとに、テーマに沿って具体的に表現しよう（表現方法は自由）。

◎私の課題と取り組み、ズバリ一言で『

』

①常在条件（身体・心理・社会的側面の特徴）と病理的状态（疾病を理解するための基礎知識・治療内容・患者はどうかアセスメントを含む）入院まで、入院から受け持つまでの経過

②患者の望ましい姿 ③看護上の問題点 ④看護の方向性

( ) 氏

年 月 日 (実習 / 4日目) 学籍番号 氏名

1日全体を通した 実習目標	
------------------	--

性別・ 年齢・病名	( ) 氏	( ) 氏	
①患者の 注目して いること			
②上記の 理由			
③本日の 患者目標			
申し送 り内容	( ) 氏	( ) 氏	ケアの根拠、優先順位・調整の根拠
計画・実施 8:30			
16:30			

( ) 氏の観察項目・ケア	( ) 氏の観察項目・ケア
( ) 氏の看護記録 SOAP	( ) 氏の看護記録 SOAP
本日の学び	
看護師から受けた助言 (学生記述)	

年 月 日（ ） 実習病棟 \_\_\_\_\_ 担当看護師 \_\_\_\_\_

学籍番号 \_\_\_\_\_ 氏名 \_\_\_\_\_

実習目標	
------	--

注目した看護場面	看護を行う上で大切だと考えたこと
注目した看護の場面は詳細に記述	
自己の学び	
指導者から受けた助言（学生記述）	

一日の実習計画と評価-2

指導者

年 月 日 (実習 日目) 学籍番号 氏名

実習場所 [ ]

本日の目標		
	実施内容	実習を通してしてわかったこと・考えたこと
時間		
—		
—		
—		
—		
—		
—		
—		
—		
—		
		*振り返りの視点は、各実習の実習要項を参照すること
指導者から受けた助言 (学生記述)		

各実習場所にて学んだことをまとめましょう→各部署・部門に皆さんの学びを提出します。

どんな気づきがあったのか、どういうことが自己の学びにつながったのか、箇条書きではなく具体的に表現しましょう。

### 1. 看護部門実習（場所：\_\_\_\_\_）

特徴

一般病棟との違い

学び、みんなに知っておいてほしいこと

### 2. 多職種連携実習（場所：\_\_\_\_\_）

特徴

円滑な連携のために、看護師として配慮すべきこと

学び、みんなに知っておいてほしいこと

☞実習終了後のワークで各部門ごと集まります。それまでに記入して臨んでください。

☞提出期限： / ( )までに、職員室 BOXへ提出してください。

学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一步努力を要する
医療チームの中で臨床判断思考を活用しながら複数患者へ看護を実施できる。	医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している。	対象理解 実践力 倫理観	記録用紙 I・II・III カンファレンス 実習状況 個別支援	医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい個別性のある看護を実施している。 2 5	医療チームの中で優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい看護を実施している。 2 0	優先順位や根拠を考え対象の望ましい姿に向かい看護を実施している。 1 0	対象の望ましい姿を表現し看護を実施している。 3
医療チームの中で多職種との連携について考え看護の役割を理解する。	医療チームの中で対象を支えるための多職種との連携や看護の役割を明確にしている。	調整力 探求心	記録用紙 I・II・III・IV カンファレンス 実習状況 個別支援	対象を支えるための多職種との連携や看護の役割について自己の考えを具体的に表現している。 2 0	対象を支えるための多職種との連携や看護の役割について表現している。 1 5	多職種の業務や看護の役割について表現している。 5	多職種の業務のみ表現している。 3
看護専門職者として自己の課題を明確にして取り組むことができる。	看護専門職者として自己の課題と実習での取り組みを明確にして行動している。	探求心 実践力	記録用紙 I・II・III・IV 事前・事後 レポート カンファレンス 実習状況 個別支援	看護専門職者として自己の傾向を踏まえ課題を改善するための取り組みと振り返りをしている。 2 5	看護専門職者として自己の傾向を踏まえ課題を改善するための取り組みをしている。 2 0	看護専門職者として自己の課題と取り組みを表現している。 1 0	自己の課題のみを表現している。 3
対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護について考える。	対象の人権を尊重し対象に沿った看護の大切さについて考えている。	倫理観		複数患者の受けもちを通し対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護の大切さを、根拠を入れながら具体的に記述している。 2 0	複数患者を受け持つ中で対象の人権を尊重し、対象の思いに沿った看護の大切さを記述している。 1 5	複数患者を受け持つ中で対象の思いに沿った看護の大切さを表現している。 5	対象の思いについて考えている。 3
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。	医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るために適切な行動をとり、仲間の模範となりチームをけん引している。 1 0	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。 5	看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るという視点で自己の行動を振り返っている。 3	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している。 0

実習指導者助言

実習欠課時間数  
( ) 時間 / 90 時間

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点

実習指導者サイン

担当教員サイン